

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福岡県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	精神医療センター太宰府病院	2
北九州市	門司病院	3
北九州市	医療センター	4
北九州市	八幡病院	5
福岡市	福岡市立こども病院	6
福岡市	福岡市民病院	7
大牟田市	総合病院	8
飯塚市	飯塚市立病院	9
田川市	市立病院	10
筑後市	市立病院	11
中間市	市立病院	12
芦屋町	芦屋中央病院	13
小竹町	小竹町立病院	14
鞍手町	地方独立行政法人くらて病院	15
糸田町	緑ヶ丘病院	16
川崎町	町立病院	17
公立八女総合病院企業団	公立八女総合病院	18
公立八女総合病院企業団	みどりの杜病院	19

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター太宰府病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,831 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨
診療科数	5	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	83.8	82.8	84.8
感染症	-	-	-	-
計	300	83.8	82.8	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,101,556	
決算規模(千円)	1,583,844,219	
標準財政規模(千円)	922,372,758	
財政力指数	0.64581	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	260.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.2
修正医業収支金額(千円)	2,187,783

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,763,871			
1 経常収益	2,603,495			
(1) 医業収益	2,188,969			
入院収益	1,846,788			
外来収益	321,972			
診療収入計	2,168,760			
その他医業収益	20,209			
(うち他会計負担金)	1,186			
(2) 医業外収益	414,526			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	333,971			
(うち長期前受金戻入)	79,587			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	160,376			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,472,656			
2 経常費用	2,468,696			
(1) 医業費用	2,372,218			
職員給与費	10,279	0.5	56.0	96.0
材料費	-	-	24.1	8.6
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.0
減価償却費	142,311	6.5	9.2	12.5
経費	2,217,942	101.3	23.2	34.0
(うち委託料)	18,074	0.8	11.3	16.5
研究研修費	-			
資産減耗費	1,686			
(2) 医業外費用	96,478			
(うち支払利息)	87,501	4.0	1.6	3.2
(3) 特別損失	3,960			
損益				
経常損益	134,799			
純損益	291,215			
累積欠損金	1,709,296			
経常収支比率	105.5		98.2	100.0
医業収支比率	92.3		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	91.9		86.0	66.0

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,710,345
1 固定資産	3,453,536
(1) 有形固定資産	3,452,691
(2) 無形固定資産	845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,256,809
(1) 現金及び預金	775,283
(2) 未収金及び未収収益	523,177
(3) 貸倒引当金( )	42,650
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,304,105
1 固定負債	3,693,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,673,431
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,232
(7) リース債務	-
2 流動負債	383,272
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	345,355
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,359
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,928
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	227,170
(1) 長期前受金	1,820,244
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,593,074
資本合計	406,240
1 資本金	1,198,746
2 剰余金	-792,506
(1) 資本金剰余金	916,790
(2) 利益剰余金	-1,709,296
負債・資本合計	4,710,345
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	335,157	335,157
資本勘定繰入	225,577	225,577
計	560,734	560,734

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	78.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	北九州市
	病院名	門司病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,196 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	91.6	84.1	87.2
療養	50	95.1	93.1	90.9
結核	55	42.5	55.9	46.3
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	75.3	77.0	73.9
平均在院日数(一般病床のみ)		27.2	24.0	24.8

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	548,551,194	
標準財政規模(千円)	279,698,636	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	171.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	256,391			
1 経常収益	256,391			
(1) 医業収益	1,990			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	1,990			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	254,401			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	225,093			
(うち長期前受金戻入)	1,632			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	370,632			
2 経常費用	370,632			
(1) 医業費用	303,980			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	120,655	6063.1	9.2	10.4
経費	180,174	9054.0	23.2	29.9
(うち委託料)	629	31.6	11.3	12.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	3,151	-	-	-
(2) 医業外費用	66,652	-	-	-
(うち支払利息)	52,648	2645.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-114,241			
純損益	-114,241			
累積欠損金	16,341,331			
経常収支比率	69.2		98.2	96.7
医業収支比率	0.7		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	87.8		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	11311.2		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	87.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	8.4		86.0	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,667,465
1 固定資産	26,588,153
(1) 有形固定資産	25,428,622
(2) 無形固定資産	4,517
(3) 投資その他の資産	1,155,014
2 流動資産	5,079,312
(1) 現金及び預金	1,229,307
(2) 未収金及び未収収益	3,795,555
(3) 貸倒引当金( )	23,664
(4) 貯蔵品	76,611
3 繰延資産	-
負債合計	32,676,108
1 固定負債	25,341,102
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,995,966
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	1,145,136
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,078,162
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,516,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	803,066
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,722,894
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,256,844
(1) 長期前受金	1,825,132
(2) 長期前受金収益化累計額( )	568,288
資本合計	-1,008,643
1 資本金	36,519,548
2 剰余金	-37,528,191
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-37,681,783
負債・資本合計	31,667,465
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	1,008,643
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.7
修正医業収支金額(千円)	1,990

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,093	225,093
資本勘定繰入	126,591	126,591
計	351,684	351,684

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	166.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	北九州市
				病院名	医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,416 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨が感災地輪		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	620	69.7	71.3	72.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	16	-	0.1	-
計	636	67.9	69.5	70.2
平均在院日数（一般病床のみ）		14.2	14.7	14.5

設立団体の状況		
人口（人）	961,286	
決算規模（千円）	548,551,194	
標準財政規模（千円）	279,698,636	
財政力指数	0.72	
経常収支比率（%）	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.2
	将来負担比率（%）	171.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	94.4
修正医業収支金額（千円）	15,195,035

損益計算書（千円・%）					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	16,509,790				
1 経常収益	16,493,063				
(1) 医業収益	15,195,035				
入院収益	9,760,997				
外来収益	5,151,047				
診療収入計	14,912,044				
その他医業収益	282,991				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	1,298,028				
(うち国・都道府県補助金)	32,357				
(うち他会計補助・負担金)	1,035,057				
(うち長期前受金戻入)	9,427				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	16,727				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	17,046,678				
2 経常費用	16,869,546				
(1) 医業費用	16,103,779				
職員給与費	7,536,261	49.6	56.0	49.8	
材料費	4,608,094	30.3	24.1	28.0	
(うち薬品費)	3,182,376	20.9	12.6	14.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,422,711	9.4	11.1	12.8	
減価償却費	888,033	5.8	9.2	8.3	
経費	2,964,633	19.5	23.2	20.7	
(うち委託料)	1,258,862	8.3	11.3	11.4	
研究研修費	60,141				
資産減耗費	46,617				
(2) 医業外費用	765,767				
(うち支払利息)	91,031	0.6	1.6	1.4	
(3) 特別損失	177,132				
損益					
経常損益	-376,483				
純損益	-536,888				
累積欠損金	14,422,834				
経常収支比率	97.8		98.2	99.5	
医業収支比率	94.4		88.3	92.8	
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.5	9.1	
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.6	10.3	
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.5	9.0	
実質収益対経常費用比率	91.6		86.0	90.4	

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	31,667,465
1 固定資産	26,588,153
(1) 有形固定資産	25,428,622
(2) 無形固定資産	4,517
(3) 投資その他の資産	1,155,014
2 流動資産	5,079,312
(1) 現金及び預金	1,229,307
(2) 未収金及び未収収益	3,795,555
(3) 貸倒引当金（ ）	23,664
(4) 貯蔵品	76,611
3 繰延資産	-
負債合計	32,676,108
1 固定負債	25,341,102
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,995,966
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	1,145,136
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,078,162
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,516,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	803,066
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,722,894
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,256,844
(1) 長期前受金	1,825,132
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	568,288
資本合計	-1,008,643
1 資本金	36,519,548
2 剰余金	-37,528,191
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-37,681,783
負債・資本合計	31,667,465
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	1,008,643
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,035,057	1,035,057
資本勘定繰入	790,438	790,438
計	1,825,495	1,825,495

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	166.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	北九州市
				病院名	八幡病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	29,566 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	350	68.1	52.6	54.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	68.1	52.6	54.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.2	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	548,551,194	
標準財政規模(千円)	279,698,636	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	171.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.3
修正医業収支金額(千円)	6,021,833

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,833,489			
1 経常収益	7,762,255			
(1) 医業収益	7,501,884			
入院収益	4,652,768			
外来収益	1,263,861			
診療収入計	5,916,629			
その他医業収益	1,585,255			
(うち他会計負担金)	1,480,051			
(2) 医業外収益	260,371			
(うち国・都道府県補助金)	2,215			
(うち他会計補助・負担金)	202,927			
(うち長期前受金戻入)	2,074			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	71,234			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,521,249			
2 経常費用	8,474,359			
(1) 医業費用	8,218,416			
職員給与費	4,670,949	62.3	56.0	57.1
材料費	1,013,250	13.5	24.1	23.9
(うち薬品費)	387,354	5.2	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	621,231	8.3	11.1	11.4
減価償却費	360,003	4.8	9.2	9.5
経費	2,058,143	27.4	23.2	22.0
(うち委託料)	995,852	13.3	11.3	10.8
研究研修費	26,502			
資産減耗費	89,569			
(2) 医業外費用	255,943			
(うち支払利息)	57,700	0.8	1.6	1.6
(3) 特別損失	46,890			
損益				
経常損益	-712,104			
純損益	-687,760			
累積欠損金	6,917,618			
経常収支比率	91.6		98.2	96.7
医業収支比率	91.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.7		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	21.5		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	71.7		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,667,465
1 固定資産	26,588,153
(1) 有形固定資産	25,428,622
(2) 無形固定資産	4,517
(3) 投資その他の資産	1,155,014
2 流動資産	5,079,312
(1) 現金及び預金	1,229,307
(2) 未収金及び未収収益	3,795,555
(3) 貸倒引当金( )	23,664
(4) 貯蔵品	76,611
3 繰延資産	-
負債合計	32,676,108
1 固定負債	25,341,102
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,995,966
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	1,145,136
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,078,162
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,516,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	803,066
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,722,894
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,256,844
(1) 長期前受金	1,825,132
(2) 長期前受金収益化累計額( )	568,288
資本合計	-1,008,643
1 資本金	36,519,548
2 剰余金	-37,528,191
(1) 資本剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-37,681,783
負債・資本合計	31,667,465
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,008,643
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,682,978	1,682,978
資本勘定繰入	244,583	244,583
計	1,927,561	1,927,561

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	166.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	福岡市
		病院名	福岡市立こども病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,681	
決算規模(千円)	844,134,600	
標準財政規模(千円)	419,057,590	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	123.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	74,682			
1 経常収益	74,682			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	74,682			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	74,682			
2 経常費用	74,682			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	74,682			
(うち支払利息)	74,682	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	福岡市
	病院名	福岡市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,681	
決算規模(千円)	844,134,600	
標準財政規模(千円)	419,057,590	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	123.2

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,741			
1 経常収益	20,741			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	20,741			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,741			
2 経常費用	20,741			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	20,741			
(うち支払利息)	20,741	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	大牟田市
	病院名	総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	117,360	
決算規模(千円)	53,356,568	
標準財政規模(千円)	27,574,457	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	48.0

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	157,473			
1 経常収益	157,473			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	157,473			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	157,473			
2 経常費用	157,473			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	22.0
(うち委託料)	-	-	11.3	10.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	157,473			
(うち支払利息)	157,473	-	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	85.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	飯塚市
	病院名	飯塚市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	250	74.1	77.1	76.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	74.1	77.1	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	22.3	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	129,146	
決算規模(千円)	62,671,485	
標準財政規模(千円)	32,939,734	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	19.7

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,311 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	364,190			
1 経常収益	364,190			
(1) 医業収益	226,741			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	226,741			
(うち他会計負担金)	226,741			
(2) 医業外収益	137,449			
(うち国・都道府県補助金)	10,357			
(うち他会計補助・負担金)	18,219			
(うち長期前受金戻入)	75,382			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	560,419			
2 経常費用	560,419			
(1) 医業費用	498,472			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	271,650	119.8	9.2	10.3
経費	226,741	100.0	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	81			
(2) 医業外費用	61,947			
(うち支払利息)	30,124	13.3	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-196,229			
純損益	-196,229			
累積欠損金	725,040			
経常収支比率	65.0		98.2	96.7
医業収支比率	45.5		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	67.3		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	108.0		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	67.3		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	21.3		86.0	83.4

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,202,313
1 固定資産	4,186,620
(1) 有形固定資産	4,186,370
(2) 無形固定資産	250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	15,693
(1) 現金及び預金	4,015
(2) 未収金及び未収収益	11,678
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,465,213
1 固定負債	3,242,917
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,242,917
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	153,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	141,340
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	848
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,343
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	68,765
(1) 長期前受金	558,382
(2) 長期前受金収益化累計額( )	489,617
資本合計	737,100
1 資本金	1,314,279
2 剰余金	-577,179
(1) 資本金剰余金	147,861
(2) 利益剰余金	-725,040
負債・資本合計	4,202,313
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	233,493	244,960
資本勘定繰入	20,100	20,100
計	253,593	265,060

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	319.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	田川市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,810 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 臨 感 災 輪		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一 般	334	57.3	62.7	64.3
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	8	-	-	-
計	342	56.0	61.2	62.8
平均在院日数（一般病床のみ）		13.8	13.3	13.6

設立団体の状況		
人口（人）	48,441	
決算規模（千円）	27,868,133	
標準財政規模（千円）	12,950,543	
財政力指数	0.43	
経常収支比率（%）	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.0
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.4
修正医業収支金額（千円）	4,907,846

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	5,865,399			
1 経 常 収 益	5,629,630			
(1) 医 業 収 益	5,019,396			
入 院 収 益	3,264,965			
外 来 収 益	1,522,170			
診 療 収 入 計	4,787,135			
そ の 他 医 業 収 益	232,261			
(うち他会計負担金)	111,550			
(2) 医 業 外 収 益	610,234			
(うち国・都道府県補助金)	11,197			
(うち他会計補助・負担金)	352,787			
(うち長期前受金戻入)	223,429			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	235,769			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	5,736,449			
2 経 常 費 用	5,621,297			
(1) 医 業 費 用	5,370,837			
職 員 給 与 費	2,848,523	56.8	56.0	57.1
材 料 費	886,203	17.7	24.1	23.9
(うち薬品費)	358,898	7.2	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	527,305	10.5	11.1	11.4
減 価 償 却 費	338,864	6.8	9.2	9.5
経 費	1,264,378	25.2	23.2	22.0
(うち委託料)	662,086	13.2	11.3	10.8
研 究 研 修 費	21,412			
資 産 減 耗 費	11,457			
(2) 医 業 外 費 用	250,460			
(うち支払利息)	91,322	1.8	1.6	1.6
(3) 特 別 損 失	115,152			
損 益				
経 常 損 益	8,333			
純 損 益	128,950			
累 積 欠 損 金	913,368			
経 常 収 支 比 率	100.1		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	93.5		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	91.9		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資 産 合 計	6,855,107
1 固 定 資 産	5,305,001
(1) 有 形 固 定 資 産	5,305,001
(2) 無 形 固 定 資 産	-
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	1,550,106
(1) 現 金 及 び 預 金	808,530
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	735,497
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	18,814
(4) 貯 蔵 品	23,823
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	7,502,108
1 固 定 負 債	6,155,591
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,124,359
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	1,031,232
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	1,281,200
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	612,816
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	179,436
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	468,091
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	65,317
(1) 長 期 前 受 金	6,583,446
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	6,518,129
資 本 合 計	-647,001
1 資 本 金	248,911
2 剰 余 金	-895,912
(1) 資 本 剰 余 金	17,456
(2) 利 益 剰 余 金	-913,368
負 債 ・ 資 本 合 計	6,855,107
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	647,001
資本不足額（繰延収益控除後）( )	581,684
備 考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	464,337	464,337
資本勘定繰入	430,139	430,139
計	894,476	894,476

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	18.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	筑後市
		病院名	市立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	48,339	
決算規模(千円)	19,108,537	
標準財政規模(千円)	10,439,383	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	40.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	55,223			
1 経常収益	55,223			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	55,223			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	55,223			
2 経常費用	55,223			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	55,223			
(うち支払利息)	55,223	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	中間市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,302 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	122	44.2	52.7	51.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	44.2	52.7	51.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	21.3	22.4

設立団体の状況		
人口(人)	41,796	
決算規模(千円)	17,617,994	
標準財政規模(千円)	9,544,235	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	60.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,853,801			
1 経常収益	1,853,736			
(1) 医業収益	1,688,677			
入院収益	630,855			
外来収益	960,791			
診療収入計	1,591,646			
その他医業収益	97,031			
(うち他会計負担金)	48,658			
(2) 医業外収益	165,059			
(うち国・都道府県補助金)	10,423			
(うち他会計補助・負担金)	94,666			
(うち長期前受金戻入)	52,944			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	65			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,015,903			
2 経常費用	2,002,500			
(1) 医業費用	1,923,563			
職員給与費	1,030,851	61.0	56.0	61.8
材料費	503,048	29.8	24.1	17.7
(うち薬品費)	433,884	25.7	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	53,679	3.2	11.1	8.2
減価償却費	68,413	4.1	9.2	10.4
経費	314,894	18.6	23.2	29.9
(うち委託料)	113,996	6.8	11.3	12.9
研究研修費	2,546			
資産減耗費	3,811			
(2) 医業外費用	78,937			
(うち支払利息)	11,509	0.7	1.6	1.7
(3) 特別損失	13,403			
損益				
経常損益	-148,764			
純損益	-162,102			
累積欠損金	439,237			
経常収支比率	92.6		98.2	96.7
医業収支比率	87.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	85.4		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	927,473
1 固定資産	636,363
(1) 有形固定資産	635,673
(2) 無形固定資産	690
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	291,110
(1) 現金及び預金	2,424
(2) 未収金及び未収収益	274,273
(3) 貸倒引当金( )	600
(4) 貯蔵品	14,413
3 繰延資産	-
負債合計	1,187,828
1 固定負債	499,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	487,624
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,555
(7) リース債務	-
2 流動負債	487,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,925
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,807
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	206,044
(8) 未払金及び未払費用	152,990
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	201,458
(1) 長期前受金	1,651,595
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,450,137
資本合計	-260,355
1 資本金	94,571
2 剰余金	-354,926
(1) 資本金剰余金	82,811
(2) 利益剰余金	-437,737
負債・資本合計	927,473
不良債務	133,156
実質資金不足額	133,156
資金不足額( )	260,355
資本不足額(繰延収益控除後)( )	58,897
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.3
修正医業収支金額(千円)	1,640,019

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	143,324	143,324
資本勘定繰入	48,009	48,009
計	191,333	191,333

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	133,156	7.9
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	芦屋町
	病院名	芦屋中央病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	14,208	
決算規模(千円)	8,283,757	
標準財政規模(千円)	3,694,040	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,148			
1 経常収益	4,148			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,148			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,148			
2 経常費用	4,148			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	29.9
(うち委託料)	-	-	11.3	12.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	4,148			
(うち支払利息)	4,148	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	小竹町
		病院名	小竹町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,759 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	56	60.8	64.7	61.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	60.8	64.7	61.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	24.5	35.7

設立団体の状況		
人口(人)	7,810	
決算規模(千円)	4,308,745	
標準財政規模(千円)	2,693,393	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	120.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	540,324			
1 経常収益	538,193			
(1) 医業収益	489,792			
入院収益	287,057			
外来収益	124,007			
診療収入計	411,064			
その他医業収益	78,728			
(うち他会計負担金)	60,724			
(2) 医業外収益	48,401			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	31,424			
(うち長期前受金戻入)	12,890			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,131			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	538,417			
2 経常費用	534,998			
(1) 医業費用	524,319			
職員給与費	397,802	81.2	56.0	71.8
材料費	39,958	8.2	24.1	16.5
(うち薬品費)	9,500	1.9	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,738	4.6	11.1	5.6
減価償却費	21,046	4.3	9.2	12.2
経費	64,509	13.2	23.2	31.2
(うち委託料)	29,663	6.1	11.3	12.3
研究研修費	888			
資産減耗費	116			
(2) 医業外費用	10,679			
(うち支払利息)	1,637	0.3	1.6	1.9
(3) 特別損失	3,419			
損益				
経常損益	3,195			
純損益	1,907			
累積欠損金	200,240			
経常収支比率	100.6		98.2	97.1
医業収支比率	93.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	18.8		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	17.1		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	83.4		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	469,772
1 固定資産	285,051
(1) 有形固定資産	284,900
(2) 無形固定資産	151
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	184,721
(1) 現金及び預金	95,256
(2) 未収金及び未収収益	87,569
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	1,585
3 繰延資産	-
負債合計	613,466
1 固定負債	129,861
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,517
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	126,344
(7) リース債務	-
2 流動負債	335,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,574
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	11,826
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	21,039
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	148,098
(1) 長期前受金	294,323
(2) 長期前受金収益化累計額( )	146,225
資本合計	-143,694
1 資本金	53,632
2 剰余金	-197,326
(1) 資本金剰余金	2,914
(2) 利益剰余金	-200,240
負債・資本合計	469,772
不良債務	148,212
実質資金不足額	148,212
資金不足額( )	143,694
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.8
修正医業収支金額(千円)	429,068

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	100,715	92,148
資本勘定繰入	3,951	7,852
計	104,666	100,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	148,212	30.3
29年度	162,210	33.3
28年度	157,838	34.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	鞍手町
		病院名	地方独立行政法人くらて病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一 般	-	-	-	-
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	16,007	
決算規模(千円)	7,414,814	
標準財政規模(千円)	4,650,478	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	9,425			
1 経 常 収 益	9,425			
(1) 医 業 収 益	-			
入 院 収 益	-			
外 来 収 益	-			
診 療 収 入 計	-			
そ の 他 医 業 収 益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医 業 外 収 益	9,425			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	9,425			
2 経 常 費 用	9,425			
(1) 医 業 費 用	-			
職 員 給 与 費	-	-	56.0	59.3
材 料 費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減 価 償 却 費	-	-	9.2	10.3
経 理 費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研 究 研 修 費	-			
資 産 減 耗 費	-			
(2) 医 業 外 費 用	9,425			
(うち支払利息)	9,425	-	1.6	1.7
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-			
純 損 益	-			
累 積 欠 損 金	-			
経 常 収 支 比 率	100.0		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	-
1 固 定 資 産	-
(1) 有 形 固 定 資 産	-
(2) 無 形 固 定 資 産	-
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	-
(1) 現 金 及 び 預 金	-
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	-
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	-
(4) 貯 蔵 品	-
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	-
1 固 定 負 債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	-
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	-
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	-
(1) 長 期 前 受 金	-
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	-
資 本 合 計	-
1 資 本 金	-
2 剰 余 金	-
(1) 資 本 剰 余 金	-
(2) 利 益 剰 余 金	-
負 債 ・ 資 本 合 計	-
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	-
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	糸田町
		病院名	緑ヶ丘病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,798 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	54	71.3	71.1	68.3
療養	45	68.3	66.1	67.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	69.9	68.8	67.9
平均在院日数(一般病床のみ)		24.3	26.8	27.9

設立団体の状況		
人口(人)	9,020	
決算規模(千円)	5,383,526	
標準財政規模(千円)	2,723,697	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.4
修正医業収支金額(千円)	622,862

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	791,127			
1 経常収益	791,127			
(1) 医業収益	682,243			
入院収益	445,730			
外来収益	153,975			
診療収入計	599,705			
その他医業収益	82,538			
(うち他会計負担金)	59,381			
(2) 医業外収益	108,884			
(うち国・都道府県補助金)	3,828			
(うち他会計補助・負担金)	93,619			
(うち長期前受金戻入)	5,841			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	816,708			
2 経常費用	816,708			
(1) 医業費用	815,628			
職員給与費	568,947	83.4	56.0	71.8
材料費	96,909	14.2	24.1	16.5
(うち薬品費)	54,199	7.9	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,493	4.5	11.1	5.6
減価償却費	24,336	3.6	9.2	12.2
経費	124,168	18.2	23.2	31.2
(うち委託料)	38,682	5.7	11.3	12.3
研究研修費	1,089			
資産減耗費	179			
(2) 医業外費用	1,080			
(うち支払利息)	132	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-25,581			
純損益	-25,581			
累積欠損金	372,765			
経常収支比率	96.9		98.2	97.1
医業収支比率	83.6		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	19.3		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	78.1		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	425,693
1 固定資産	237,212
(1) 有形固定資産	236,629
(2) 無形固定資産	583
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	188,481
(1) 現金及び預金	36,025
(2) 未収金及び未収収益	147,101
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	5,355
3 繰延資産	-
負債合計	491,515
1 固定負債	226,522
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,827
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	13,695
2 流動負債	187,096
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,367
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	25,000
(5) 引当金	28,506
(6) リース債務	6,433
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	20,790
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	77,897
(1) 長期前受金	236,157
(2) 長期前受金収益化累計額( )	158,260
資本合計	-65,822
1 資本金	-
2 剰余金	-65,822
(1) 資本金剰余金	306,943
(2) 利益剰余金	-372,765
負債・資本合計	425,693
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	65,822
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	153,000	153,000
資本勘定繰入	3,184	3,184
計	156,184	156,184

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	138,572	23.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	川崎町
		病院名	町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	16,789	
決算規模(千円)	10,157,435	
標準財政規模(千円)	4,812,853	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	65.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,389			
1 経常収益	20,389			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	20,389			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,389			
2 経常費用	20,389			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	-	-	9.2	12.2
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	20,389			
(うち支払利息)	20,389	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
				病院名	公立八女総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,147 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が地輪		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	300	91.1	88.8	79.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	91.1	88.8	79.6
平均在院日数（一般病床のみ）		15.4	13.6	12.7

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	-	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	-	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	95.9
修正医業収支金額（千円）	7,865,650

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,573,431			
1 経常収益	8,573,431			
(1) 医業収益	7,929,096			
入院収益	4,778,192			
外来収益	2,977,479			
診療収入計	7,755,671			
その他医業収益	173,425			
(うち他会計負担金)	63,446			
(2) 医業外収益	644,335			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	138,029			
(うち長期前受金戻入)	8,834			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,031,864			
2 経常費用	9,031,864			
(1) 医業費用	8,204,026			
職員給与費	3,952,141	49.8	56.0	57.1
材料費	2,310,934	29.1	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,566,091	19.8	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	674,276	8.5	11.1	11.4
減価償却費	513,858	6.5	9.2	9.5
経費	1,410,079	17.8	23.2	22.0
(うち委託料)	809,540	10.2	11.3	10.8
研究研修費	16,441			
資産減耗費	573			
(2) 医業外費用	827,838			
(うち支払利息)	88,302	1.1	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-458,433			
純損益	-458,433			
累積欠損金	198,481			
経常収支比率	94.9		98.2	96.7
医業収支比率	96.6		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	2.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	2.5		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	2.3		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	92.7		86.0	85.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	14,501,175
1 固定資産	8,207,624
(1) 有形固定資産	8,207,624
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,293,551
(1) 現金及び預金	2,836,942
(2) 未収金及び未収収益	1,330,072
(3) 貸倒引当金（ ）	1,145
(4) 貯蔵品	174,949
3 繰延資産	-
負債合計	6,567,183
1 固定負債	4,571,856
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,217,733
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,353,881
(7) リース債務	242
2 流動負債	1,723,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	623,249
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	148,069
(6) リース債務	2,559
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	876,878
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	271,580
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	236,975
資本合計	7,933,992
1 資本金	7,625,319
2 剰余金	313,064
(1) 資本剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	-61,823
負債・資本合計	14,501,175
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	335,741	201,475
資本勘定繰入	359,093	392,385
計	694,834	593,860

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	1.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
	病院名	みどりの杜病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,418 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	30	87.5	84.8	84.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	87.5	84.8	84.4
平均在院日数(一般病床のみ)		40.9	45.2	41.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	102.2
修正医業収支金額(千円)	455,821

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	466,695			
1 経常収益	466,695			
(1) 医業収益	455,821			
入院収益	417,476			
外来収益	30,206			
診療収入計	447,682			
その他医業収益	8,139			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,874			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	5,424			
(うち長期前受金戻入)	3,132			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	452,446			
2 経常費用	452,446			
(1) 医業費用	445,873			
職員給与費	326,800	71.7	56.0	81.3
材料費	28,487	6.2	24.1	14.4
(うち薬品費)	12,322	2.7	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,511	1.6	11.1	5.1
減価償却費	24,189	5.3	9.2	13.4
経費	65,513	14.4	23.2	47.5
(うち委託料)	26,725	5.9	11.3	20.0
研究研修費	884			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,573			
(うち支払利息)	-	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	14,249			
純損益	14,249			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.1		98.2	96.3
医業収支比率	102.2		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	1.2		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	1.2		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	1.2		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	102.0		86.0	64.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,501,175
1 固定資産	8,207,624
(1) 有形固定資産	8,207,624
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,293,551
(1) 現金及び預金	2,836,942
(2) 未収金及び未収収益	1,330,072
(3) 貸倒引当金( )	1,145
(4) 貯蔵品	174,949
3 繰延資産	-
負債合計	6,567,183
1 固定負債	4,571,856
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,217,733
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,353,881
(7) リース債務	242
2 流動負債	1,723,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	623,249
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	148,069
(6) リース債務	2,559
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	876,878
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	271,580
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額( )	236,975
資本合計	7,933,992
1 資本金	7,625,319
2 剰余金	313,064
(1) 資本剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	-61,823
負債・資本合計	14,501,175
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,012	5,424
資本勘定繰入	-	-
計	6,012	5,424

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。